



中央地区人権啓発推進協議会主催 バス視察研修 称名寺「鳴らない石の鐘」を巡って

参加者から

11月28日の朝、小型バスにて晴れの松本を出発。

2年前の2月に引越して来てからのこの種のバス研修に何度か邪魔して、徐々に知り合いも増えてきた。信州の事を全く知らない私にはとても良い機会だと感じている。

高速に入り長野方向に向かう、私は息で白くなった窓を布で拭きながら車窓を楽しむ、私にとってはどんな景色でも新鮮なのだ。高速を降りて田舎道に入り、自然豊かな道を進み、雨の中赤い屋根の鐘楼堂を目指す、私はネット上で信濃町の天気を確認して雨具は用意していて、長野県は南北に長い県と実感していた。

称名寺は本堂と鐘楼堂の古びた寺で階段上がった左側に赤い屋根の鐘楼堂が、正面に本堂が鐘楼堂には鐘の代わりに「梵鐘記念 昭和十七年



称名寺住職 佐々木 五七子さん

十月」と彫られた石が吊ってあった、雨が降っていたので早速本堂に入る。外見からは想像できなかったが、仏壇は広く金色に輝いていた。女性の住職が来られた。住職は子供の頃からこの寺にあり今でもここを継いでいるとの事、鐘は昭和十七年に国の金属回収令で供出され、鐘の代わりに鐘楼堂が飛ばされたように重りとしての石が吊



称名寺鐘つき堂「鳴らない石の鐘」

るされたとのこと。
戦後、他の寺では鐘を新造したが、この寺では戦時中の日本の体制に反省を促す為とその犠牲者を弔う為に、今でも昭和十七年のままにしてある。
他の寺では鐘の音が近所に鳴り響いているが、この寺では鐘の音は響かないが、この精神は日本中に鳴り響いていると思われる。
私も、戦争の初期の段階で金属を供出させて、これで勝利を本気で考えて、最後は人間を虫けらの様に戦争の道具にして、終戦近くになると自分たちが関与した証拠隠滅などを考えていた日本の行った事を考えると、この無音の鐘の音は永遠に鳴り響いて欲しいものだ。

山梨県防災安全センター 視察研修に参加して

中央地区防災部の参加者から

12月3日(土)、中央地区

防災部、日赤奉仕団、大手公民館共催による山梨県防災安全センター視察研修に参加しました。午前8時前に大手門駐車場へ行くと既に大勢の参加者がバスを待つており、受付をするときかんとお茶を頂きました。さあ出発です！

車内では今回の視察概要等について説明があり、松本インターから高速道路に入り目的地を目指して進みます。南アルプスインターに近づくと、車外の景色は富士山と八ヶ岳の大パノラマでした。景色に見惚れているうちに山梨県防災安全センターに到着しました。

簡易トイレについて説明する
山下センター長

センターでは、何か作業をしてきたと思われる格好の大柄な男性が迎えてくれた。案内された講義室で待つこと1分、あの作業着の方がなんとこここのセンター長ということでビックリ！
災害の話の内容は、センター長自身が体験したことをもとに、簡易トイレの必要性和普段からの準備が自分たちの生死を決める事になる、と写真、動画、手作りのサンプル等で熱く説明を受けました。
その後、数人の参加者が地震の体験をし、改めて身の安全な守り方などを学びました。
有意義な一日を過ごすことができました。皆様に感謝、ありがとうございました。



これから地震体験…ドキドキです

公民館前に

立派な門松!

12月19日(月)、中央地区役員8名の皆さんが、大手公民館前で毎年恒例の門松作りを行い、高さ約2.5mの立派な門松が完成しました。

竹は、小泉修平さん、赤松・紅白南天は、藤村吉彦さん、菰は、犬飼富雄さんがワラをきれいにすいてくださり、藤田久夫さんと湯本信一さんが編み上げました。

竹をのこぎりで切り、ヒノキや赤松の葉で周囲を囲うなどして作業は2時間ほどで終了しました。

作業にあたられた地区役員の皆さま、寒い中お疲れ様でした!



立派な門松が出来ました!

恒例の中央地区餅つき大会

12月28日(水)、年末恒例の餅つき大会が開かれました。もち米約16キロを蒸し、臼ときねを使った昔ながらの餅つきを、地元の親子ら約70名が楽しんでいました。

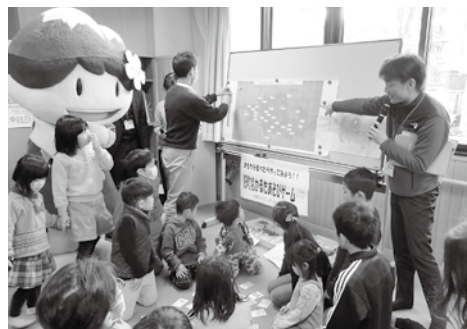
また今年は「旧町名かるた」を使ったチーム対抗かるた取りゲームも併せて開催しました。ルールは赤と白2チームに分かれ、取った絵札を確認しながら城下町絵図に描かれた旧町名の場所を確認、その場所に色違いのマグネットを貼って多く陣地を取ったチームの勝ちとなりました。参加してくれた子ども達もはかると取りに夢中になり、それを見守



「よいしょ!」

る保護者の皆さんも真剣に城下町絵図を眺める姿が印象的でした。

年末の良い思い出となったことでしょう。



旧町名かるた取りゲーム

中央地区
新年初顔合わせ会

中央地区新年初顔合わせ会が1月5日(木)、午前11時から、大手公民館大会議室にて開催されました。

朝早くから地区関係団体の皆さんがお雑煮やおにぎりを作り、仕出しのつまみなどと一緒に囲んで、地区住民・関係団体役員など、約60名の皆さんが賑やかな時間を過ごされました。

また今年2月下旬には、緑町に「喫茶山雅」がオープンすることもあり、松本山雅の



鏡開きをする関係者

長元坊 チョウゲンボウ

旅のしおりづくり

11月19日(土)、20日(日)、縄手通りにある四柱神社で「恵比寿講しようふく祭」が行われました。それに合わせて、上土町会では大正ロマンの雰囲気を出す物品を展示する「まちなかギャラリー」が開催されており、松本大学の畑井ゼミでも同イベントに参加させて頂くことになりました。

私たち畑井ゼミでは、「まちなかギャラリー」にご協力頂いた店舗・施設を紹介する

「旅のしおり」という冊子を制作しました。この取り組みは、上土町会にある店舗・施設を観光客はもちろん、地域住民にもっと知ってもらいたいという思いから始まりました。

今回の企画に協力してくださったのは12の店舗・施設で、菓子店、飲食店、ホテルなど様々です。ゼミ生で担当の店舗・施設を決め、実際に店主のところにお伺いし、直接話を聞いて記事にしました。冊子の内容は、店舗・施設の営業時間等の情報の他に、お店の沿革や上土に対する思い

などを記載することで、インターネット等で調べても出てこないオリジナルのしおりを目指しました。

私たちは今回の企画を通じて、人と人とのコミュニケーションの大切さを学ぶことができました。今はまだ12の店舗・施設を紹介するしおりしか完成していませんが、今後後輩たちに、この取り組みをもっと充実させていってほしいと考えています。

松本大学

観光ホスピタリティ学科4年

近藤 文佳